Growth, Reborn towards 2033

中期経営計画
2026 – 2030

選ばれ続ける企業へ

昭和化学工業グループ

2026年5月15日

持続的な成長と社会価値の創造に向けて
新たな挑戦の第一歩を踏み出します

昭和化学工業グループは、株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様に対し、
私たちの目指す姿と成長への道筋を明確にお示しするため、本計画を策定いたしました。

POINT 01

2033年に創立100周年

1933年の創立以来、90年以上にわたり培ってきた技術と信頼を礎に、2033年に迎える「創立100周年」という大きな節目に向けて、グループ一丸となって更なる飛躍を目指します。

POINT 02

次の100年への基盤整備

本中期経営計画（2026-2030）を、次の100年も選ばれ続ける企業であるための重要な「基盤整備期間」と位置付け、事業ポートフォリオの変革と経営基盤の強化を断行します。

POINT 03

中期経営計画の社外公表

透明性の高い経営とステークホルダーの皆様との対話を重視し、今回初めて中期経営計画を社外へ公表いたします。皆様との信頼関係を深め、共に企業価値を向上させてまいります。

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

MISSION STATEMENT

企業としての使命

お客様のため、社会のため、人間生活向上のため、
貴重な資源を限りなく有効に活用し、
広く産業を支え、豊かな明日を構築することに貢献する。

お客様・社会・人間生活
Contribution

貴重な資源の活用
Effective Use

豊かな明日の構築
Future Growth

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

History

1933年

創立93年の歴史と実績

ろ過助剤のパイオニア



事業拠点
東京、大阪、鳥取、福岡、北京、シンガポール

生産拠点
国内外8工場体制

出荷実績
世界40か国以上（累計）に出荷
成長著しい国や地域を含む幅広い地域へ出荷実績あり

Stock Market

東証スタンダード

証券コード：4990

信頼の上場企業



Market Position

グローバルリーディング

国内濾過助剤メーカーNo.1

グローバルニッチトップ



代表取締役社長
石橋 健藏

昭和化学工業は、国内最大の濾過助剤メーカーとして、90年以上にわたり産業の発展を支えてきました。

これからも独自の技術と国内外８つの製造拠点による安定供給で、ニッチトップの責任を果たしてまいります。

今後はグローバル展開をさらに加速させ、「選ばれ続ける企業」として次の100年へ挑戦します。

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業領域とグローバル展開

主力製品（濾過助剤のパイオニア）



ラヂオライト®

珪藻土濾過助剤

無数の微細な孔を持つ多孔質構造により、
食品や医薬品分野で高度な清澄化を実現。



トプコ®

パーライト濾過助剤

真珠岩を原料とした軽量・高機能製品。

多様な事業ポートフォリオ

- フィラー・機能性充填材
- ソリューション（受託・選定）
- 化成品・殺菌消毒剤
- 生活関連・農業資材
- ITインフラ保守・受託
- 環境リサイクル事業

GLOBAL NETWORK

アジアを軸に世界へ展開

ニッチトップの技術力を基盤に、成長著しいアジア市場を軸に世界へ積極展開。

中国拠点（北京・大連・吉林省）

販売子会社（RTC）を核に巨大市場でのプレゼンスを確立。

グローバルサプライチェーン

主要国の代理店と連携し、安定供給と技術サポートを提供。

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

強みと競争優位性

ニッチトップとしての3つのコア・バリュー

技術、供給、実績の3本柱が支える競争優位性

01

Technology & Heritage

独創技術と歴史的信頼

1933年の創業以来磨き上げた独自の粉体制御技術で、ニッチトップの地位を確立。
90年以上の実績が、お客様からの信頼の証です。

- ニッチトップを支える技術（珪藻土・パーライト濾過助剤）
- 創立93年の歴史と豊富な実績
- 業界をリードする研究開発力

02

Stable Supply

国産原料と安定供給網

貴重な国産原料を保有し、国内5製造拠点を展開。地政学リスクに左右されない、強固で安定したサプライチェーンを提供します。

- 良質な国産原料による安定供給（他社にない強み）
- 国内5工場体制によるBCP対応力
- 環境に配慮したサステナブルな生産

03

Solution Provider

顧客密着の提案力

商品販売にとどまらず、お客様の製造プロセスに入り込み、最適な濾過ソリューションを提案します。

- 顧客密着型の技術サポート・受託サービス
- 多様なニーズに応えるカスタマイズ対応
- グローバルな知見を活かした課題解決

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業環境と2033年のありたい姿

事業環境認識（外部環境）

- デジタル技術の急速な進展とサステナビリティの重要性の高まり
- 国内人口減少による労働力不足と市場構造の変化
- 資本コストの上昇、各種調達コストの増加、金利上昇への対応
- 天災の激甚化やサイバーリスクなど、BCP対応の必要性

市場機会（Growth Opportunity）

- 高付加価値ろ過システム・機能材への需要シフト
- 未開拓の新規用途開発と海外市場における需要獲得
- 社外パートナーとの「協創」による新たな付加価値サービスの創出
- 環境配慮型商品・ソリューションへのニーズ拡大

VISION 2033

社会と共に成長し、次の100年も“選ばれ続ける企業”へ

創立100年に向けて、私たちは「Reborn（再生）」に挑戦します。

社会や市場の変化に合わせてビジネスモデルを進化させ、持続的な成長と顧客価値の最大化を実現します。

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画の基本方針（2026–2030）

持続的成長に向けた3つの重点テーマ

新領域への行動強化

Growth Driver

既存ネットワークを活用し、周辺領域や全く新しい市場への進出を加速させます。AI等の活用によりリソースを最適化し、成長分野へ重点配分します。

- 問題解決型サービスの拡充（ろ過ソリューション等）
- 社外パートナーとの協創による新市場開拓
- 周辺商材・受託事業の拡大

既存事業の収益力強化

Profitability

価値訴求と、徹底したコスト構造の見直しにより、強固な収益基盤を構築します。

- 付加価値提案による継続的な取引関係の深化
- 省エネ・生産性向上によるコスト最適化
- 調達先の多様化とリスク管理

組織力の強化

Foundation

社員一人ひとりが挑戦し、成長を実感できる組織風土を醸成します。多様な価値観を尊重し、エンゲージメントを高めます。

- 挑戦を応援し、社員が成長する組織へ
- 顧客視点・業務品質向上への意識改革
- 多様な人材の活躍と健康経営の推進

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

成長戦略①：新領域への展開

新領域への具体的アクション

問題解決サービスの拡充

既存ネットワークを活用し、周辺商材、ろ過システム販売、受託加工など、顧客の課題を解決するソリューションを強化します。

社外パートナーとの「協創」

技術開発や新たな市場開発において、外部企業との提携や共同研究を推進し、スピード感を持って新領域へ進出します。

地域課題解決ビジネスへの挑戦

地域の特性や資源を活かし、社会課題を解決する新たなビジネスモデルの構築を目指します。

新領域へつなげる仕組みづくり

→
AI活用と業務効率化
AIなどのデジタル技術を活用して社内工数を削減し、創出されたリソースを新領域分野へ集中的に再配分します。

→
段階的な事業化プロセス
企画提案の活性化から実証実験（PoC）、そして事業化へと至るロードマップを描きながら推進します。

Target Fields / 重点領域

- 医薬品・バイオ向け
- 食品・飲料向け
- 建材・機能材向け
- ITソリューション

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

成長戦略②：既存事業の収益力強化

収益構造の最適化（利益最大化・コスト最小化）

- ✓価値ベースの価格戦略：商品の価値を訴求し、適正価格での取引と販売シェア拡大を推進
- ✓製造原価の低減：運転管理の最適化、熱効率向上、廃棄物低減による徹底したコスト削減
- ✓生産性向上：省力化設備の導入と工程見直しにより、歩留まりと生産効率を最大化

事業基盤の盤石化（信頼・安定）

- ●調達の多様化：調達ソースの多角化により、サプライチェーンリスクへの耐性を強化
- ●顧客満足度の向上：安定供給と品質への信頼を基盤に、顧客とのパートナーシップを深化
- ●設備投資の実行：設備の更新と高度化を着実に実施し、長期的かつ安定的な操業体制を構築

KEY PERFORMANCE INDICATORS

収益性と効率性を徹底的に追求する

適正利益の確保
価値に見合った価格設定と高付加価値化

原単位改善・省エネ
エネルギー効率向上と廃棄物削減

顧客維持率の向上
CS向上による「選ばれ続ける」関係構築

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

財務目標（2026–2030）

連結売上高

Current
92億円 → Target (2030) **110億円**

+19.0% Growth

EBITDA

Current
7.2億円 → Target (2030) **9.0億円**

+25.0% Growth

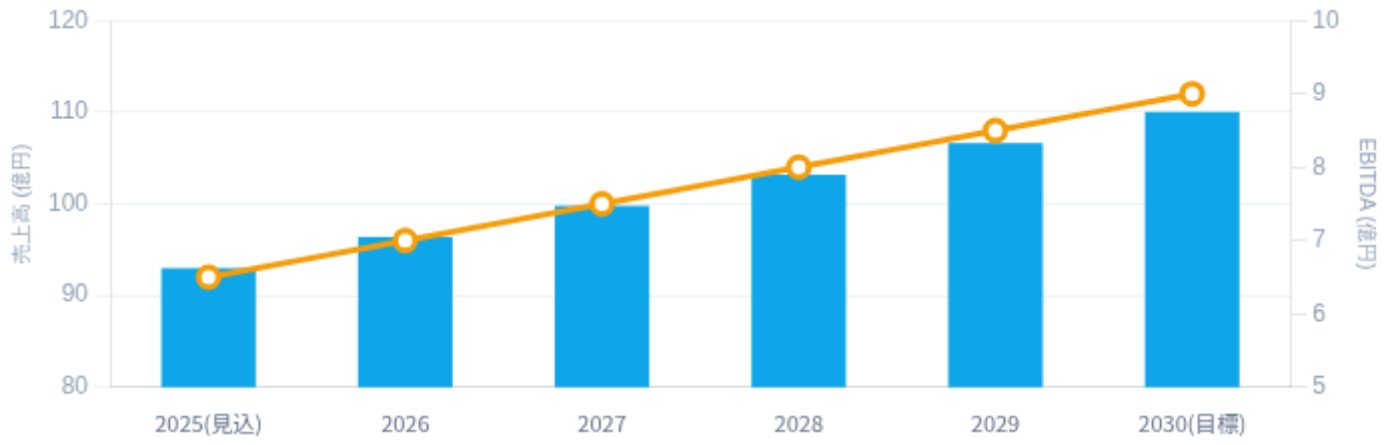
自己資本比率

Policy
50%以上

健全性を維持

財務安定性を確保しつつ
成長投資を実行

成長イメージ (2025年度見込 - 2030年度目標)



Financial Policy

「安定性と成長投資の両立」を基本方針とし、
創立100周年に向けた“Reborn”を財務面から支えます。

- トップラインの着実な成長
- 高付加価値化による利益率向上
- 規律ある財務運営

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

資本政策と株主還元

資本構成・効率性の最適化

個人株主比率

流動性の向上とファン株主の拡大を目指し、
個人株主比率の向上を図ります。

現在 25% → 目標 30%

政策保有株式

保有意義の希薄化した政策保有株式の縮減を進め、
資本効率の改善を図ります。

財務健全性の維持

基本方針

成長投資に必要な資金調達を行いながらも、
強固な財務基盤を維持し、安定性と成長性を両立させます。

有利子負債

対売上高 有利子負債比率 30% 以内 を維持

株主還元方針

安定的な配当の継続と還元水準の向上

配当性向 目標

15% 以上

を当面維持

↓

将来的には 20% 以上へ

株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけ、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続することを基本方針とします。

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

資本コストや株価を意識した経営への対応

現状認識：企業価値と株価のギャップを生む3つの主要因

PBR 1倍割れ

① 認知度の課題
当社事業およびニッチトップとしての業界優位性への認知度が、市場において相対的に低い。

② 流動性の制約
発行済・流通株式数が少なく、売買出来高に制約。本来の企業価値が反映されにくい。

③ 還元策のギャップ
資本コストを上回るリターンへの期待に対し、現状の株主還元策との間に認識のズレ。

今後の対応方針

今後5年間

- IR活動の強化
  情報開示と企業理解促進
- 流動性向上
  個人株主比率の向上
- 配当政策：基盤強化
  配当性向15%以上維持

PBR分解構造
本質的アプローチ

PBR（Price Book-value Ratio） = ROE（Return on Equity） × PER（Price Earnings Ratio）

PBR	ROE	PER
時価総額 / 純資産	利益 / 純資産	時価総額 / 利益
	純資産に対する利益水準	成長性に対する期待

PBRを上昇させるためには、収益力を強化し（ROE）、新分野への行動を強化すること（PER）が本質であると考えています

次期計画を見据えて

還元水準の引き上げ
事業成長に伴うキャッシュ創出力を背景に、
配当性向を20%以上へ段階的に引き上げを検討

PBR 1倍超の定着
資本効率（ROE）と成長期待（PER）の双方を高め、
持続的な企業価値向上を実現

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

キャッシュアロケーション（2026–2030累計）

営業
キャッシュフロー
28億円以上

外部調達
（必要に応じて）

Allocation

設備投資
最大20億円

成長投資
最大5億円

株主還元
5億円以上

内部留保
(バランス)

既存事業の基盤強化

省エネ・生産性向上（4億円）
製品ラインナップ拡充（4億円）
設備の更新と高度化（12億円）

新領域への挑戦

研究開発・パートナーとの市場開発
M&A戦略（自己株式活用含む）

株主還元の強化

配当性向 15% → 20%以上へ
株主優待

持続的成長の源泉

更なる成長への投資余力確保
財務健全性の維持

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

組織力強化とサステナビリティ

ESG経営の推進と基盤強化

人的資本と組織力

Human Capital

社員一人ひとりが挑戦し、成長を実感できる組織風土を醸成します。多様性を力に変え、持続的な価値創造の源泉とします。

- エンゲージメント向上
  挑戦を称賛し、社員が成長を実感する風土の醸成
- 多様性と健康経営
  Well-beingの追求と多様なキャリア支援
- 人材育成・確保
  次世代リーダーと専門人材の計画的育成

環境サステナビリティ

Environment

事業活動における環境負荷を低減し、持続可能な社会の実現に貢献します。省エネと資源循環を経営の重要課題と位置付けます。

- 省エネルギー推進
  生産設備の更新とプロセス改善による効率化
- 資源循環
  廃棄物の削減と再資源化リサイクル
- サプライチェーン
  調達・物流における環境負荷低減

ガバナンスと経営基盤

Governance

透明性の高い経営体制を構築し、ステークホルダーからの信頼に応えます。リスク管理を徹底し、持続的成長を支えます。

- モニタリング強化
  KPIに基づく進捗管理とPDCAサイクルの徹底
- コンプライアンス
  法令遵守と倫理的行動の社内浸透
- リスクマネジメント
  事業継続計画(BCP)の策定と運用

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画に関するFAQ（よくあるご質問）

投資家・株主の皆様からの主なご質問への回答

Q1 なぜこのタイミングで初めて中期経営計画を公表するのですか？

A 2033年の創立100周年という大きな節目を見据え、当社の成長戦略とビジョンをステークホルダーの皆様と共有するためです。透明性を高め、対話を通じた信頼関係の強化を図ることが、持続的な企業価値向上に不可欠であると判断しました。

Q2 PBR1倍割れの改善に、どのくらいの期間を見込んでいますか？

A 今後5年間（本中計期間）を基盤整備フェーズと位置づけ、IR強化と安定配当を実施します。次期計画（2031年～）では配当性向20%以上への引き上げ等を行い、成長期待（PER）と資本効率（ROE）の双方を高めることで、PBR1倍超の定着を目指します。

Q3 直近の中東情勢に関する影響について教えてください。

A 地政学的リスクの高まりを背景に、当社事業におけるサプライチェーンや資源・エネルギー価格への影響を注視しております。今後、当該事案の長期化や深刻化により当社グループの業績に重要な影響が見込まれる場合には、本中期経営計画の前提条件および数値目標の見直しを検討してまいります。

Q4 設備投資20億円の主な内訳と使途を教えてください。

A 主な内訳は、省エネ・生産性向上に4億円、製品ラインナップ拡充に4億円、供給基盤となる設備の更新と高度化に12億円です。安定供給体制の維持だけでなく、コスト競争力の強化と環境負荷低減（CO2削減）に資する投資を重点的に実施します。

Q5 「外部調達」はどのような場合に実施する予定ですか？

A 基本的には営業キャッシュフローの範囲内で投資を行いますが、大型M&Aや、想定を超える急激な需要の変化に対応するための緊急的な設備投資など、非連続な成長機会を獲得するために必要と判断した場合に、機動的に検討・実施します。

Q6 海外展開について、具体的な計画を教えてください。

A 中国北京の販売拠点を軸に、成長著しいアジア市場でのシェア拡大を図ります。特に食品・飲料向け濾過助剤の需要取り込みを強化するとともに、現地のパートナー企業との連携も視野に入れ、グローバルでの存在感を高めていきます。

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.

まとめ：2033年に向けて

Growth, Reborn towards 2033
次の100年も選ばれ続ける企業へ

“Reborn”の実行による事業進化

新領域への挑戦と既存事業の収益性強化とを両輪とし、環境変化に適応した強靭な事業ポートフォリオへと転換します。

持続的成長と社会価値の両立

財務目標の達成のみならず、環境負荷低減や地域社会への貢献を通じて、社会価値と経済価値を同期させた成長を実現します。

ステークホルダーとの協創加速

お取引先、地域社会、投資家とのパートナーシップを深め、共に新しい価値を創造してまいります。

Contact Us

本計画に関するお問い合わせ

経営管理部 IR担当

ir-contact@showa-chemical.co.jp

https://www.showa-chemical.co.jp

本資料に含まれる将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Copyright © Showa Chemical Industry Co., Ltd. All Rights Reserved.